

幼稚園・保育所用 アセスメント票（２）

家庭での様子	〈家族構成・家庭状況〉……（ 5 ）人家族 ※本児と家族の関係等 ・父：関わりは薄い。 ・母：几帳面なタイプで本児はやや反抗気味。 ・兄（小学2年生、通常級）：ADHDの診断。本児とは仲が良い。 ・妹（年小）：おもちゃの取り合い等で、よくケンカになる。 ・祖父（父方）：おだやかで優しい。本児もなついている。	
	〈基本的生活習慣〉 ※身辺自立・生活リズム等 ・食が細く、食べ終わるのに1時間以上時間がかかる。 ・着替えは1人でできるが、表裏を逆に着ていることがある。	〈家庭内での様子〉 ※帰宅後や休日の過ごし方、遊び、家族の対応等 ・帰宅後すぐにTVを見るかゲームをする。やめられないので母が叱るが言うことをきかない。 ・週2回体操教室
	身体状況	医師の指示・対応
	発作の（有 ・ 無）	
	慢性疾患（ ）	
服薬の（有 ・ 無）		
薬名（ ）		
視覚について…遠視・近視・弱視・斜視・その他（ ）		
聴覚について…聞こえにくい・難聴・その他（ ）		
園での様子	保育士・幼稚園教諭からみた、発達面で課題とを感じる言動や気になる様子など	
	【集団活動場面での様子】 ※できるだけ具体的に記入してください ・運動機能・からだや手指の使い方・感覚上の特性（過敏・鈍感）・見え方等 ・行動上の困難・トラブル・パニック・こだわりや、多動性・協調性等 ・指示場面での理解のしかたや程度、受け止め方の特徴、要求の出し方等	
	【自由遊び等での様子】 【好きなこと・興味あること・得意なこと・強み】 ※指導や支援の糸口となりそうなこと等 ・（好き）プール・タブレットゲーム・ポケモンキャラ ・（興味）電車 ・（得意）ダンス ・（強み）見て模倣する力	
現在の支援状況	【具体的な取り組み（支援）内容】 ※できるだけ具体的に記入してください ・全体のスケジュールを提示した後に個別に用意したスケジュールを見せて取組内容を説明し見通しが持てるようにしている。 ・制作の際には、名前を呼ぶ等して本児の注意が向いていることを確認してから話しを聞かせるようにしている。	

幼稚園・保育所用 アセスメント票（3）

園児名（ ）

※対象となる子どもの年齢の項目にかかわらず気になる所があればチェックし、具体的な様子・出来事があれば記入してください。
(No. 1)

生活年齢の目安	チェック	発達についての設問	具体的な様子・出来事
2歳頃		名前を呼んでも自分のことと認識しない。	
		「チョウダイ」と言って手を差し出しても玩具等を渡さない。	
		指さし行動がない。	
		大人や兄弟の動作をまねることをしない。	
		自分の体や部分がわからない。 (目、鼻、口、耳のうち二つ以上がわからない。)	
		有意味語（ワンワンやニャーニャーなど）が3語以上ない。	
3歳頃		大小便をもらした時教えない。	
		大きい小さい（長い短い）がわからない。	
		名前・年齢がわからない（言えない）。	
		二語文を話さない（マンマ、チョーダイなど）。	
		「あとで、あした、また」など言われたとき待てない。	
		自分のものと他人のものの区別ができない。	
		順番がわからない（大人が指示しても順番・交代不可）。	
		両足とびができない。飛び降りができない。	
		身近な友だちの名前がわからない。	
4歳頃		おもちゃなどの友だちと順番で使ったり貸し借りできない。	
		性の区別がわからない。	
		ごっこ遊びがみられない。	
		ケンケンで進むことができない。	
		基本的な色の名前がわからない。 (赤・黄・青・緑のうち2つ以上わからなければチェック。)	
		簡単な質問に答えるなどのやりとりができない。	
		ボールを近くの人に投げることができない（2メートル程度）。	
5歳頃		指をあて、指し示しながら10個まで数えることができない。	
		はさみで簡単な形をきりぬくことができない。	
		ジャンケンがわからない。	
		経験したことを話すことができない。	

※項目に気になる所があればチェックし、具体的な様子・出来事があれば記入してください。(No. 2)

	チェック	集団適応状況についての設問	具体的な様子・出来事
言語		自分から一方的に話をする。場に応じた話ができない。	
		聞こえているが言葉の意味理解が難しい。	
社会性		不適切な状況で余計に走り回ったりする。	
		危険予知・回避が、難しい。	
		初めての場面に入りにくい、あるいは拒否する。 または場面の切り替えが難しい。	
		一人遊びが多い、集団行動をとりにくい。	
		遊び、ゲームのルールが分かりにくい。	
こだわり		特定の物、人、場所等にこだわりがある。	
感覚		身体に触れられることに非常に敏感、もしくは非常に鈍感である。	
		転びやすかったりバランスを崩しやすかったりする。	
		物の扱いが非常に雑である。 もしくは物にぶつかったり押し倒したり乱暴である。	
		偏食がある。	
		音に対して耳ふさぎをすることがある。	
行動面		落ち着きがなくじっとしてられない。	
		突発的な行動をとることがある。	
		自分の感情をコントロールすることができずにパニックになることがある（自傷、他害行為を含め）。	
		異物を口にする。	
食事		個別対応で指示、介助が必要。	
排泄		出ているかわからない、習慣がついていない。	
着脱		全面介助が必要。	
その他		個別の支援計画を作成している。	
		発達支援ファイルを所持している。	
		療育手帳を所持している。	